

解 答 例

1

[1]

問1	(例) バレンタインチョコも恵方巻きも、当日を過ぎると需要がなくなる点。
問2	(例) 成長を求める売り上げ至上主義を掲げて、店舗数と恵方巻きの生産を増やし続けた結果、売れ残った恵方巻きを大量廃棄するのをやめること。
問3	(例) 海産資源を大切にして、たとえ売り上げは増えなくとも、今後も現在と同じくらいの営業を続けていきたいから。
問4	【肯定的】 (例) 売れ残った恵方巻きの廃棄量が減ることは、海産資源の保全につながるので、お店の方針に賛成だ。
	【否定的】 (例) 恵方巻きを買いに行ったのに、欠品で買えなかったお客さんが
	いて良くないと考えるので、お店の方針に反対だ。



[2]

問5	(ア) 240 (kg)	(イ) 75 (kg)
問6	(例) 中／高所得国の消費段階の食料のロスと廃棄量は、低所得国と比べて多い。	
	(例) 食料のロスと廃棄量の全体に占める生産から小売の段階の割合は、	
	中／高所得国より低所得国の方が高い。	



[3]

問7	(例) not say anything
問8	(例) people eat <i>Eho-maki</i> only on <i>Setsubun</i>
問9	(例) use all the food we buy



解答例

2

〔1〕

問1	<p>(1) 100mLの中に溶けている砂糖は10gである。1 mL=1 cm³であるから 1 mL=1.1gである。したがって、溶液の質量は100×1.1=110gである。 よって質量パーセント濃度は</p> $\frac{10}{110} \times 100 = 9.\overset{1}{09}\dots$ <p style="text-align: right;">答 9.1 %</p>	(1)
	<p>(2) 200mlに含まれる砂糖の質量は20gである。 溶液の重さは200×1.1=220gである。氷を x g 入れ、氷が溶けた後の溶液の重さは(220 + x) g である。 8%の溶液 (220 + x) g の中の砂糖の質量は{0.08 × (220 + x)} g である。氷を入れても砂糖の質量は変化しないので20gのままである。</p> $0.08 \times (220 + x) = 20$ $17.6 + 0.08 x = 20$ $0.08 x = 2.4$ $x = 30$ <p style="text-align: right;">答 30 g</p>	(2)
	<p>(3) 濃度が8%以上となるには、入れる氷が30g以下であればよい。 氷1個の体積は2.5×2.5×2.5=15.625 cm³ 密度が0.9g/cm³であるから 質量は0.9×15.625=14.¹0625 氷1個の質量は14.1 g 氷2個の質量は2×14.1=28.2 (g)となる。 氷3個の質量は3×14.1=42.3 (g)となる。 入れる氷が30g以下となるのは2個までである。</p> <p style="text-align: right;">答 2個</p>	(3)

解 答 例

2

問2	(例) 米などの穀物の主成分はデンプンであり、デンプンはヒトのもつ消化	
	酵素によってブドウ糖に分解されて体内に吸収されるので、血糖は不足	
	せず細胞は活動することができるから。	
問3	(例) ビーカーに砂糖を入れて水に溶かし、微生物で発酵させて、アルコールを得る。その溶液を蒸留し、アルコールランプに入れ、燃焼させる。水を入れたビーカーを用意して三脚に置いて加熱し、蒸発させる。生じた水蒸気の圧力でプロペラ付きのモーターを回して、電気エネルギーを得る。	
問4	太陽	

[2]

問5	テンサイ			
問6	1 茶の湯	2 薩摩(鹿児島)	3 琉球	4 台湾
問7	銀			
問8	(例) 日本に関税自主権がなかった点。			
問9	(例) 日本ではサトウキビの栽培にコストがかかり過ぎた			
問10	(例) 地力の低下を防ぎ、収穫量の安定化を図ることができる。			